

快眠歯科 (いびき・無呼吸) 外来

高血圧、心筋梗塞、脳血管障害、糖尿病等の生活習慣病を悪化させる現代病の睡眠時無呼吸症に対し、マウスピースを用いて下顎を前に出し、睡眠中の呼吸の通りを良くしていびき・無呼吸を抑える治療を行っています。



診療科
ホームページ
QRコード



得意とする疾患と担当歯科医師

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前		○			○
午後					

●閉塞性睡眠時無呼吸症 (Obstructive Sleep Apnea : OSA) の 口腔内装置 (マウスピース ; Oral Appliance : OA) 療法

秀島 雅之 (診療科長)、戸邊 昌子 (医員)、田中 裕香 (医員)、服部 旭威 (歯科総合診療科 非常勤講師)、藤田 秋世 (矯正歯科 非常勤講師)、石山 裕之 (兼任・顎関節外来)、山口 浩平 (兼任・摂食嚥下リハビリテーション外来)、田村 厚子 (兼任・摂食嚥下リハビリテーション外来)、三間 裕子 (歯科総合診療科 非常勤講師)、宮地 舞 (社会人大学院 摂食嚥下リハビリテーション外来)、霞澤 秀一郎 (非常勤講師)



特色・診療内容

- ・保険診療による上下顎一体型のOA(マウスピース)、もしくは保険外の上下分離型のOAを装着し、下顎を前方に固定することで、いびき・無呼吸を抑え、日中の眠気、集中力の低下を防止します。
- ・高血圧、心筋梗塞、脳血管障害、糖尿病等の生活習慣病を悪化させる現代病である睡眠時無呼吸症に対しマウスピースを用いた治療を行っています。
- ・医科・歯科を有する当院の特色を生かし、快眠センターと緊密な連携診療、情報交換を行い、個々の症例に適したテーラーメイドな治療を実践しており、メディアでの紹介、社会への周知も行っていきます。
- ・OA(マウスピース)作製が困難とされる義歯装着者に対して、専門医が工夫を凝らし、歯の少ない方にも効果が高く装着感の良いOA治療を行っており、全身の健康やQOLの回復を図れます。



お願い

- ・睡眠時無呼吸の歯科治療を受けるには、**事前に医療機関での睡眠検査、睡眠時無呼吸症の診断が必要です。**検査・診断をご希望の場合は、当科と連携の

快眠センター : 03-5803-4587

にお問い合わせ下さい。

- ・歯科のOA療法は比較的軽度の睡眠時無呼吸症に適用されます。重度の睡眠時無呼吸症には医科のCPAP(持続陽圧呼吸装置)と呼ばれる鼻マスクによる呼吸サポート処置が保険適用されるため、睡眠検査の結果が重症の際は快眠センターの受診をお勧めいたします。

参考：快眠センター (P.37) もご覧ください。

【外来】初診事前予約受付 診療科にてお電話でご予約を承ります。

TEL 03-5803-4955 (平日9:00~16:30)

※詳細はP.10をご覧ください。